



平成18年
7月15日号

No.52

●毎月5・15・25日発行

広報 かもがわ

●編集発行・鴨川市総務部市長公室
広報広聴係

●電話・04(7093)7827

●FAX・04(7093)7850

●住所・〒296-8601 鴨川市横渚1450

●ホームページ
http://www.city.kamogawa.lg.jp/



市民皆さんの生命と財産を守ります

進んで
います!

安全・安心のまちづくり

行政・警察署・消防署の連携で

犯罪情報や被害相談を受け付け

(市役所) 4階に生活安全対策室

「不正請求や悪質商法の被害を受けた」「登下校中の児童につきまとう不審者がいる」。市では、年々増え続ける犯罪を防ごうと、市役所4階の消防防災課に「生活安全対策室」を設置し、被害情報の収集や相談業務を行っています。一方、警察署では「犯罪抑止推進室」や「救急車の優先走行システム」を設置。消防署でも万が一に備えた救急救命法の講習会を実施するなど、それぞれの役割と連携を強化しながら、市民の生命と財産を守る取り組みを進めています。今回の紙面では、各機関が始めた防犯・救急救命活動について、具体的に紹介します。

市ではこの4月、消防防災課内に「生活安全対策室」(☎7093)7833)を設置。交通事故や消費生活問題についての相談業務のほか、犯罪情報の収集、警察署との連絡業務などを行っています。

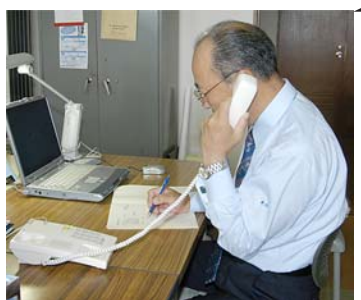
「生活安全指導員」として業務を担当するのは、元千葉県警察官の大坂諱也氏。市役所1階の市民相談室と連携しながら悪質商法などの被害相談を受け付けます。同室ではまた、「ちびぶる」と振興サポート」事業を活用した防犯パトロール

車(青色パトカー)の市内配備を申請し、このほど奇贈を受けました。車両は今後、通学路の安全確保や防犯活動に役立てられます。

夏場に急増! 車上ねらいにご注意

一方、鴨川警察署でも、4月から「犯罪抑止推進室」を設けるとともに、犯罪発生状況の周知や検挙率の向上をめざしています。

同室によると、夏場にかけて特に急増する犯罪は「車上ねらい」。犯人は、皆さんが車から離れたわずかな時間に、車内のバッグや



市消防防災課内の生活安全対策室

このシステムは、亀田総合病院(第3次救急医療機関)に向かう国道や主要県道にセンサーを設置し、救急車の位置を把握するもの。これらの情報を病院に提供することも、交通規制センターが信号を遠隔操作することで、搬送時間の短縮による救命率のアップが期待できます。実際、江見吉浦から同病院までの約10.5キロ間(信号交差点7基)で試験走行したところ、到着時間が平均で27秒早くなっています。

現金を盗みます。市内では今年に入って24件の車上ねらいが発生し、被害総額は約93万円にのぼります。被害に遭わないためには、車から離れるとき必ずドアをロックし、やむを得ず車内にバッグなどを置くときでも、外から見えない場所に隠すようにしましょう。

救命率アップに 救急車の優先走行システム

県警交通規制課では、一刻一秒を争う救急車の優先走行を助ける「救急搬送支援システム」を、安房地域に導入しました。

消防車のサイレンが8月から変わります

安房都市消防本部では、消防車両が出勤する際に使用する「サイレン」と「警鐘」の鳴らし方を、8月1日から下記のとおり変更します。これは、火災出動とそれ以外の緊急出動(交通救助など)を音で区別することで、消防車がどのような目的で緊急走行しているのかを、周辺住民に理解してもらおうというものです。詳しくは、同本部(☎0470-22233)へ問い合わせを。

- 火災出動=サイレンと警鐘を併用(「ウー・カンカンカン」の繰り返し)
- 火災以外の出動=サイレンのみ使用(「ウー」の繰り返し)

防犯や救急救命に期待される市民参加

急病やケガで倒れた人を発見したとき、居合わせた人の速やかな応急処置は、救命率向上に役立ちます。鴨川消防署では、多くの方に救急救命の方法などを学んでもらおうと、7月2日に一般向けの講習会を開きました。これには、高校生など24人が参加。心肺蘇生の注意点などを、消防署員から教わっていました。

このように、行政機関の取り組みに地域のサポート



人形を使った実践的な救命訓練



10月6日
~13日

国際姉妹都市・マニトワックへ行って 市民友好の翼の参加者を募集

海の向こうの友人と交流してみませんか。市国際交流協会では、米国の姉妹都市・マニトワック市との友好親善を目的とした訪問団「第5回市民友好の翼」の参加者を募集します。

マニトワック市はミシガン湖の西側沿岸に位置する美しいリゾート都市。人口は鴨川市とほぼ同じ約34,000人で、クルーザーなどの造船や製造業が盛んです。

同市とは平成5年11月8日に姉妹都市提携を締結。以来、訪問団などによる相互交流により10年以上にわたって友情を育んでいます。訪問日程や費用などは下記のとおりです。どうぞ、気軽にご参加ください。

- 期間 10月6日(金)~13日(金)・6泊8日
- 対象 市内に在住または勤務の方
- 参加費(航空運賃、宿泊代など)

- ①滞在中ホテル利用(2人1室)=21万8千円
- ②滞在中ホームステイ=19万1千円

■募集人員 40人(ホームステイは先着8人。定員になり次第締め切り)

■日程

- ▷10月6日(金)=成田発(午後)→シカゴ→マニトワック着→市内泊
- ▷10月7日(土)~9日(月)=市内の公共施設・観光施設の視察、市民との交流会など→市内泊
- ▷10月10日(火)=マニトワック発(午前)→シアトル着(午後)
- ▷10月11日(水)=シアトルの周遊観光など
- ▷10月12日(木)=シアトル発(昼)→成田へ
- ▷10月13日(金)=成田着(午後)

■申し込み 市役所3階市長公室内の国際交流協会事務局(☎7093)5931)へ。申込用紙は同事務局または天津小湊支所、市民サービスセンター、各出張所にあります

6月長雨土砂災害に支援を

「平成18年6月長雨土砂災害」の義援金を受け付け中。期間は7月18日(火)まで。日本赤十字社沖縄県支部宛てに郵便振替(口座番号00110-6-410021)で。通信欄に「平成18年6月長雨土砂災害」と明記。詳しくは市福祉課(☎7093)7112)。

として保存しましょう